

# 漫湖水鳥・湿地センター

# たよい

2006年6月10日発行

# No.35



## 6月4日 ボランティア活動

6月4日(日)にボランティアのみなさんと漫湖水鳥・湿地センターの周囲を清掃しました。場所は当センター入口付近のマングローブ広場です。そこは荒れ放題にゴミが散乱していました。

作業を始めて数分もしないうちに大きなゴミ袋がすぐに10袋になりました。空き缶、ペットボトル、菓子の袋、タバコ吸殻……。

胴長を着用しての活動だったのですが、スタッフが干潟に足をとられてしまうというハプニングもありました。錆びだらけの鉄くず、家電製品、車のタイヤ、バッテリー、子ども用の自転車、発砲シチロールなど粗大ゴミが多数あり驚きました。

私たちが足を踏み入れたせいか、マングローブ林でトントンミーや無数のカニ等必死で逃げ回る光景が見られました。

清掃後にはセンターの近所に住む方から感謝の声がありました。梅雨の合間の晴れた日に地域の方と交わりのできた充実したボランティア活動でした。

## 清掃活動!



今回参加者は、臼井利夫さん、天野正晴さん、長澤拓朗さん、橋本多代さん、与那嶺涼子さんに、環境省那覇事務所の丸之内美恵子さんの6名でした。

ボランティアのみなさんありがとうございました！お疲れ様でした。



2時間足らずでこんなにゴミが集まりました。

「あいえなー!!」

(沖縄の方言:あぁ!もう!どうなってんの!!)



左:  
胴長を着て、マングローブ林へ出発です。  
脚がうまるー!!!

## 沖縄県の探鳥地/佐敷干潟



佐敷干潟は、本島南部の南城市、中城湾の奥に位置しています。低質は、サンゴ礫や砂地、漫湖と同じような泥干潟も見られ、一つの干潟の中にもいろいろな環境があります。

海にダイブして魚を捕らえるミサゴや浅瀬でたたくサギ類、潮が引いて現れた干潟にはアカアシシギやアオアシシギ、シロチドリなどシギ・チドリ類が歩き回る姿を見ることができます。

また野鳥の他にも、県の天然記念物に指定されているハマジンチョウの群落、日本では中城湾にしか住んでいないトカゲハゼの生息地となっているなど、見所の多いところですよ。ぜひ、一度足を運んでみてください。



トカゲハゼ



アカアシシギ



ハマジンチョウ



## ラムサール条約登録湿地/慶良間諸島海域

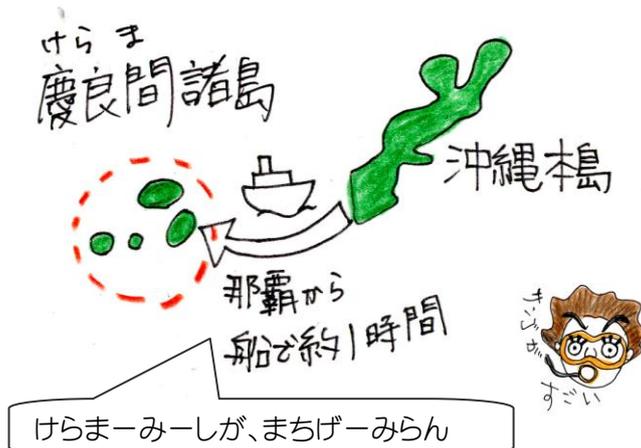
沖縄県内のラムサール条約登録湿地は漫湖のみでしたが、2005年11月、新しい仲間が2ヶ所加わりました。その中から、今回は「慶良間諸島海域」を紹介します。

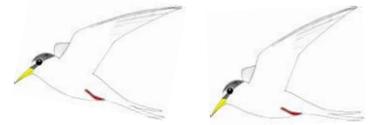
慶良間諸島は、沖縄本島の西方20~40kmにある渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島など30あまりの小さな島々です。ラムサール条約に登録されたのは、島の周辺海域353ヘクタールです。

この海の何がすごいのか!!というと、高密度に発達した造礁サンゴです。テーブル状、枝状、角状、塊状などさまざまな形態があり、その種類は238種類にもおよぶそうです。

また、サンゴ礁は熱帯雨林とともに生物種が豊富な生態系で、スズメダイ類やチョウチョウウオ類、ベラ類などサンゴ礁特有の色彩豊かで多種多様な魚類が生息しています。

これから夏本番です。色とりどりのサンゴに多くの魚が群れる慶良間の海をダイビングやシュノーケリングで散歩するのもいいですね。





# 漫湖水鳥かわら版 35

～5月 夏のはじまり～

5月	羽数	先月との比較
ゴイサギ	3	↑
アマサギ	7	↑
ダイサギ	9	↓
チュウサギ	7	↓
コサギ	7	↑
アオサギ	6	↓
クロツラヘラサギ	3	↓
ミサゴ	2	↓
ハヤブサ	1	↑
バン	1	→
ムナグロ	20	↑
キョウジョシギ	1	↑
アカアシシギ	7	→
アオアシシギ	4	↓
キアシシギ	42	↑
イソシギ	4	↓
ソリハシシギ	1	↑
オグロシギ	2	↑
ダイシャクシギ	2	↓
チュウシャクシギ	7	↓
クロハラアジサシ	1	↑
コアジサシ	6	↑
カワセミ	1	↑
合計	144	↓

## 5月4日 オグロシギ

漫湖は、めっきりシギ・チドリ類が少なくなってきました。そんな閑散とした干潟に大きめのシギを見つけました。

顔の赤が美しい夏羽のオグロシギです。飛んだときに翼の白帯をしっかりと観察できました。

地味な色合いの多いシギ類ですが、やはり夏羽はきれいですね！



## 5月中 ゴイサギ

1年中漫湖にいるけれど、日中あまり見かけない鳥の姿を観察できる季節になりました。

その鳥は、ゴイサギです。ゴイサギは、主に日が落ちてから活動する鳥で、沖縄の方言では「ユウガラサー」（夜ガラス）と呼ぶそうです。

5月に入りそんなゴイサギをお日様が高い時間に見かけるようになりました。繁殖の季節、エサをねだるヒナが待っているのでしょうか？

太陽の下にいるゴイサギは、少し暑そうに見えます。がんばれ!ゴイサギ!!



## 5月 クロツラヘラサギ

朝鮮半島に大部分が帰ってしまったクロツラヘラサギですが、まだ沖縄に3羽残っているようです。

毎日ではありませんが、時折、漫湖にも来てくれます。



## 5月7日 コアジサシ

漫湖に夏を告げる鳥、コアジサシがやってきました！夏の太陽受けて羽をキラッと光らせながら、上空をヒラヒラ飛んでいる姿が美しいです。

5月30日には、クロハラアジサシの姿も確認できました。



＊ ＊ 行事のお知らせ ＊ ＊

「 漫湖でカニ見つけ！！ 」

夏の太陽がキラキラ!!カニが活発に活動する季節です。漫湖でカニを探しましょう!

日 時:6月25日(日) 10時～12時

対 象:小学1年生以上

\* 低学年は保護者同伴

定 員:30名・要予約(先着順)

講 師:藤井 晴彦氏

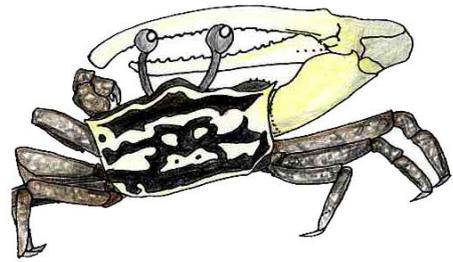
集合場所:漫湖水鳥・湿地センター

参加費:保険料 100円

持ち物:帽子・タオル・よごれてもよい服

飲み物・筆記用具・

あれば長靴(サンダル不可)



申し込み:漫湖水鳥・湿地センター098(840)5121

\* 予約受付は、6月11日からです!

ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

団体利用

5月	地域
<b>小学校</b>	
とよみ小学校 4年	豊見城市
津嘉山小学校 5年	南風原町
宇栄原小学校 6年	那覇市
垣花小学校 6年	那覇市
座安小学校 4年	豊見城市
<b>中学校</b>	
仲井真中学校特別支援学級	那覇市
鏡原中学校 1年	那覇市
<b>大学・専門学校</b>	
沖縄国際大学	宜野湾市
<b>その他</b>	
島サミット関係者	外国
環境省	県外



総入館者数

**61,387名**

5月の入館者数

**1,474名**

**うち団体 675名)**

＊ ＊ ＊編集後記＊ ＊ ＊

雨・雨・雨!! 毎日雨の沖縄です。センターに掲示されているポスターはクニャクニャで、すべてのものにカビが生えそうです。

心にだけはカビが生えないように、毎日元気なセンターでがんばります!!



中井 聡子

＜ 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会（環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市）＞

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ～ 17:00 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始(12/29～1/3)

E-mail: [manko\\_mizudori@ybb.ne.jp](mailto:manko_mizudori@ybb.ne.jp)

HP:[http://www.geocities.jp/manko\\_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)